



# SSH の設定

---

この章の内容は、次のとおりです。

- [SSH の概要, 1 ページ](#)
- [SSH の前提条件, 2 ページ](#)
- [SSH の注意事項および制約事項, 3 ページ](#)
- [デフォルト設定, 3 ページ](#)
- [SSH の設定, 3 ページ](#)
- [SSH の設定の確認, 11 ページ](#)
- [SSH の設定例, 12 ページ](#)
- [SSH 機能の履歴, 12 ページ](#)

## SSH の概要

### SSH サーバ

SSH サーバを使用すると、SSH クライアントはセキュアな暗号化された接続を確立できます。SSH は強化暗号化を使用して認証を行います。SSH サーバは、市販の一般的な SSH クライアントとの相互運用が可能です。

SSH では、TACACS+ ユーザ認証およびローカルに保存されたユーザ名とパスワードがサポートされます。

### SSH クライアント

SSH クライアントは、SSH プロトコルで稼働しデバイス認証および暗号化を提供するアプリケーションです。SSH クライアントをインストールすると、SSH サーバを実行する任意のデバイスと

の間でセキュアな暗号化された接続を確立できるようになります。この接続を通して、暗号化されたアウトバウンド接続が提供されます。SSH クライアントは、認証および暗号化により、非セキュアなネットワーク上でセキュアな通信ができます。

SSH クライアントは、市販の一般的な SSH サーバと連動します。

## SSH サーバキー

SSH では、セキュアな通信を行うためにサーバキーが必要です。SSH サーバキーは、次の SSH オプションに使用できます。

- Rivest, Shamir, and Adelman (RSA) 公開キー暗号化を使用した SSH バージョン 2
- Digital System Algorithm (DSA) を使用した SSH バージョン 2

SSH サービスをイネーブルにする前に、正しいバージョンの SSH サーバキーペアを取得しておいてください。使用する SSH クライアントのバージョンに応じた SSH サーバキーペアを生成します。SSH サービスは、SSH バージョン 2 で使用する次の 2 種類のキーペアを受け入れます。

- `dsa` オプションを使用すると、SSH バージョン 2 プロトコルに対応する DSA キーペアが生成されます。
- `rsa` オプションを使用すると、SSH バージョン 2 プロトコルに対応する RSA キーペアが生成されます。

デフォルトでは、1024 ビットの RSA キーが生成されます。

SSH は、次の公開キー形式をサポートします。

- OpenSSH
- IETF SSH (SECSH)
- Privacy-Enhanced Mail (PEM) の公開キー証明書



注意

SSH キーをすべて削除すると、SSH サービスを開始できません。

## SSH の前提条件

SSH には、次の前提条件があります。

- レイヤ 3 インターフェイス上に IP、`mgmt0` インターフェイス上にアウトオブバンド、イーサネット インターフェイス上にインバンドを設定していること。
- SSH サーバをイネーブルにする前に、SSH キーを取得すること

## SSH の注意事項および制約事項

SSH には、次の注意事項と制限事項があります。

- SSH バージョン 2 (SSHv2) のみがサポートされます。
- SSH はデフォルトでイネーブルになります。
- Cisco NX-OS コマンドは Cisco IOS コマンドと異なる場合があります。

## デフォルト設定

パラメータ	デフォルト
SSH サーバ	Enabled
SSH サーバ キー	1024 ビットで生成された RSA キー
RSA キー生成ビット数	1024

## SSH の設定

### SSH サーバ キーの生成

セキュリティ要件に応じた SSH サーバ キーを生成するには、次の手順を実行します。  
デフォルトの SSH サーバ キーは、1024 ビットで生成される RSA キーです。

#### はじめる前に

この手順を開始する前に、EXEC モードで CLI にログインする必要があります。

#### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	switch# <b>configure terminal</b>	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	switch(config)# <b>no feature ssh</b>	SSH をディセーブルにします。
ステップ 3	switch(config)# <b>ssh key {dsa [force]   rsa [bits[ force]]}</b>	SSH サーバ キーを生成します。

	コマンドまたはアクション	目的
		<i>bits</i> 引数には、キーの生成に使用するビット数を指定します。有効な範囲は 768 ~ 2048 です。デフォルト値は 1024 です。 既存のキーを置き換える場合は、キーワード <b>force</b> を使用します。
ステップ 4	switch(config)# <b>feature ssh</b>	SSH をイネーブルにします。
ステップ 5	switch# <b>show ssh key</b>	(任意) SSH サーバキーを表示します。
ステップ 6	switch# <b>copy running-config startup-config</b>	(任意) 実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

```

switch# configure terminal
switch(config)# no feature ssh
XML interface to system may become unavailable since ssh is disabled
switch(config)# ssh key dsa force
generating dsa key(1024 bits).....
.
generated dsa key
n1000v(config)# feature ssh
n1000v(config)# show ssh key
*****
rsa Keys generated:Sun Jul 27 15:18:46 2008

ssh-rsa AAAAB3NzaC1yc2EAAAABIwAAAQEAyKcb7Nv9Ki100Id9/tdHhA/ngQujlvK5mXyL/n+DeOXX
fVhHbX2a+V0cm7CCLUkBh+BvZRmpmOVtmU/5awfVhVxMKXMiPOPbc+A6/n3FVroyRwupMki6mWoM6Uwa
GID5gsVPqFjFNSgMwtbhjo97XVKhgjFW+wOvt8QoAcrEtnwEfsnQk1EIr/0XIP1mqTsrqTsmjZ2vLk+f
FzTGYAxMvYZI+BrN47aoH2yws7CpnODjCDXJuDYSBpc3PA8t0ghU/60m9R+s6AZPuljVQbGfxPrahEu4
GVc6sMJNULJxmqDJkdhMARObB4Umzj7E3Rdby/ZWx/clTYiXQR1X1VfhQ==

bitcount:2048
fingerprint:
fd:ca:48:73:b9:ee:e7:86:9e:1e:40:46:f1:50:1d:44
*****
dsa Keys generated:Sun Jul 27 15:20:12 2008

ssh-dss AAAAB3NzaC1kc3MAAACBALpdxLjXNS/jcCNY+F1QZV9HegxBEb0DMUm9bSq2N+KAcvH1lEh
GnaiHhqrOlceKqhlBibuqtKTCvfa+Y1hBIAhWVjg1UR3/M22jqxfhnxL5YRc1Q7fcesFax0myayAIU
nXrkO5iWv9XHTu+EInRc4kJOXrG9SxtLmDe/fi2ZAAAFQDbRabAjZa6GfDpwjXw5smRhrElJwAAAI EA
r50yi3hHawNnb5qgYLXhN+KA8XJF753eCWhTMw7NR8fz6fjQ1R2J97UjjGuQ8DvwpGenQ5S+AuIo0rGq
svdg7TtecBcbgBOnR7Fs2+W5HiSVEGbvjlxaeK8fkNE6kaJumBB343b8Rgj0G97MP/os1Gfkeqmx9glB
0IOM2mgHHyoAAACAFRir27hHy+fw8CxPlsK0R6cFhxYyd/qYyogXFKYIOPxpLoYrjq0DeOFThU7TJuBz
aS97eXiruzbffHwzUGfXgmQT5o9IMZRTClWPA/5Ju4O9YABYHccUghf0W+QtgGOT6FOSvBh8uOV0kcHC
GMJAP8omphauZJlc+wgFxnkyh4=

bitcount:1024
fingerprint:
44:91:32:1f:7a:d1:83:3c:f3:5e:db:53:0a:2d:ce:69
*****

```

## 公開キーを持つユーザアカウントの設定

SSH 公開キーを設定すると、パスワードを要求されることなく、SSH クライアントを使用してログインできます。SSH 公開キーは、次の 3 種類のいずれかの形式で指定できます。

- OpenSSH 形式
- Internet Engineering Task Force (IETF) SECSH 形式
- Privacy Enhanced Mail (PEM) 形式の公開キー証明書

### OpenSSH キーの設定

ユーザアカウントに OpenSSH 形式の SSH 公開キーを指定するには、次の手順を実行します。

SSH 公開キーを設定して、SSH クライアントでパスワードの入力を求められずにログインするには、次の手順を実行します。SSH 公開キーは、次の 3 種類のいずれかの形式で指定できます。

- OpenSSH 形式
- Internet Engineering Task Force (IETF) SECSH 形式
- Privacy Enhanced Mail (PEM) 形式の公開キー証明書

#### はじめる前に

この手順を開始する前に、次のことを確認してください。

- CLI に EXEC モードでログインしていること。
- OpenSSH 形式の SSH 公開キーを作成していること。
- 既存のユーザアカウントがあること。

#### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	switch# <b>configure terminal</b>	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	switch(config)# <b>username</b> <i>username sshkey ssh-key</i>	既存のユーザアカウントで OpenSSH 形式の SSH 公開キーを設定します。 ユーザアカウントを作成するには、 <b>username name password pwd</b> コマンドを使用します。
ステップ 3	switch(config)# <b>exit</b>	グローバル コンフィギュレーション モードを終了して、EXEC モードに戻ります。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 4	switch# <b>show user-account</b>	(任意) ユーザ アカウントの設定を表示します。
ステップ 5	switch# <b>copy running-config startup-config</b>	(任意) 実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

```
switch# configure terminal
switch(config)# username user1 sshkey ssh-rsa AAAAB3NzaC1yc2EAAAABIwAAAQEAyK
cb7Nv9Ki100Id9/tdHhA/ngQujlvK5mXyL/n+DeOXKfVhHbX2a+V0cm7CCLUkBh+BvZRmpmOVTmU/5aw
fVhVxMKXMiPOPbc+A6/n3FVroyRwupMki6mWoM6UwaGID5gsVPqFjFNSgMWtbhjo97XVKhgjFW+wOVt8
QoAcrEtnwEfsnQk1EIr/0XIPlmqTsrqTsmjZ2vLk+fFzTGYAxMvYZI+BrN47aoH2ywS7CpnODjCDXJuD
YSPbc3PA8t0ghU/60m9R+s6AZPuljVQbGfxPrahEu4Gvc6sMJNU1JxmQDJkdhMARObB4Umzj7E3Rdby
/ZWx/clTYiXQR1X1VfhQ==
switch(config)# exit
switch# show user-account
user:admin
    this user account has no expiry date
    roles:network-admin
user:user1
    this user account has no expiry date
    roles:network-operator
    ssh public key: ssh-rsa AAAAB3NzaC1yc2EAAAABIwAAAQEAyKcb7Nv9Ki100Id9/tdH
Ha/ngQujlvK5mXyL/n+DeOXKfVhHbX2a+V0cm7CCLUkBh+BvZRmpmOVTmU/5awfVhVxMKXMiPOPbc+A6
/n3FVroyRwupMki6mWoM6UwaGID5gsVPqFjFNSgMWtbhjo97XVKhgjFW+wOVt8QoAcrEtnwEfsnQk1E
r/0XIPlmqTsrqTsmjZ2vLk+fFzTGYAxMvYZI+BrN47aoH2ywS7CpnODjCDXJuDYSPbc3PA8t0ghU/60m
9R+s6AZPuljVQbGfxPrahEu4Gvc6sMJNU1JxmQDJkdhMARObB4Umzj7E3Rdby/ZWx/clTYiXQR1X1Vf
hQ==
switch# copy running-config startup-config
```

## IETF または PEM キーの設定

ユーザアカウントに IETF SECSH または PEM 形式の SSH 公開キーを指定するには、次の手順を実行します。

SSH 公開キーを設定して、SSH クライアントでパスワードの入力を求められずにログインするには、次の手順を実行します。SSH 公開キーは、次の 3 種類のいずれかの形式で指定できます。

- OpenSSH 形式
- Internet Engineering Task Force (IETF) SECSH 形式
- Privacy Enhanced Mail (PEM) 形式の公開キー証明書

### はじめる前に

この手順を開始する前に、次のことを確認してください。

- CLI に EXEC モードでログインしていること。
- 次のいずれかの形式の SSH 公開キーを作成していること。
  - Internet Engineering Task Force (IETF) SECSH 形式

° Privacy Enhanced Mail (PEM) 形式の公開キー証明書

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	switch# <b>copy server-file bootflash: filename</b>	サーバから SSH キーが入ったファイルをダウンロードします。サーバは FTP、Secure Copy (SCP)、Secure FTP (SFTP)、または TFTP のいずれかを使用できます。
ステップ 2	switch# <b>configure terminal</b>	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	switch(config)# <b>username username sshkey file bootflash:filename</b>	SSH 公開キーを設定します。
ステップ 4	switch(config)# <b>exit</b>	グローバル コンフィギュレーション モードを終了して、EXEC モードに戻ります。
ステップ 5	switch# <b>show user-account</b>	(任意) ユーザ アカウントの設定を表示します。
ステップ 6	switch# <b>copy running-config startup-config</b>	(任意) 実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。

```
switch# copy tftp://10.78.1.10/secsh_file.pub bootflash:secsh_file.pub vrf management
Trying to connect to tftp server.....
Connection to server Established.
|
TFTP get operation was successful
switch# configure terminal
switch(config)# username User1 sshkey file bootflash:secsh_file.pub
switch(config)# exit
switch# show user-account
user:admin
      this user account has no expiry date
      roles:network-admin
user:user2
      this user account has no expiry date
      roles:network-operator
      ssh public key: ssh-rsa AAAAB3NzaC1yc2EAAAABIwAAAQEAyKcb7Nv9Ki100Id9/tDHHa/
ngQujlvK5mXyL/n+DeOXKfVhHbX2a+V0cm7CCLUkBh+BvZRmpmOVtmU/5awfVhVxMKXMiPOPbc+A6/n3FVroyRwupMki6
mWoM6UwaGID5gsVPqFjFNSgMwtbhjo97XVKhgjFW+wOVt8QoAcrEtnwEfsnQk1EIr/0XIP1mqTsrqTsmjZ2vLk+
fFzTGyAxMvYZI+BrN47aoH2yws7CpnODjCDXJuDYSPbc3PA8t0ghU/60m9R+s6AZPuljVQbGfxPrahEu4GVc6sMJN
U1JxmQDJkdhMArObB4Umzj7E3Rdby/ZWx/clTYiXQR1X1VfhQ==
switch# copy running-config startup-config
```

## SSH セッションの開始

IP を使用して SSH セッションを開始し、リモート装置と接続するには、次の手順を実行します。

## はじめる前に

この手順を開始する前に、次のことを確認してください。

- CLI に EXEC モードでログインしていること。
- リモートデバイスのホスト名と、必要な場合はユーザ名も取得していること。
- リモートデバイスの SSH サーバがイネーブルであること。

## 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	switch# <b>ssh [root@] {ip address   hostname} [vrf vrf-name]</b>	IP を使用してリモート装置との SSH IP セッションを作成します。デフォルトの仮想ルーティングおよび転送 (VRF) インスタンスはデフォルト VRF です。

```
switch# ssh root@172.28.30.77
root@172.28.30.77's password:
Last login: Sat Jul 26 11:07:23 2008 from 171.70.209.64
```

## SSH ホストのクリア

SCP または SFTP を使用してサーバからファイルをダウンロードした際、またはリモートホストへの SSH セッションを開始した際に追加された信頼できる SSH サーバのリストをアカウントからクリアするには、次の手順を実行します。

## 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	switch# <b>clear ssh hosts</b>	SSH ホストセッションをクリアします。

```
switch# clear ssh hosts
```

## SSH サーバのディセーブル化

SSH サーバをディセーブルにしてスイッチへの SSH アクセスを禁止するには、この手順を使用します。デフォルトでは、SSH サーバはイネーブルになっています。

SSH をディセーブルにした後で再度イネーブルにするには、初めに SSH サーバキーを生成する必要があります。



### はじめる前に

この手順を開始する前に、EXEC モードで CLI にログインする必要があります。

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	switch# <b>configure terminal</b>	グローバルコンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 2	switch(config)# <b>no feature ssh</b>	SSH サーバをディセーブルにします。デフォルトではイネーブルになっています。
ステップ 3	switch(config)# <b>show ssh server</b>	(任意) SSH サーバの設定を表示します。
ステップ 4	switch(config)# <b>copy running-config startup-config</b>	(任意) 実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

```
switch# configure terminal
switch(config)# no feature ssh
XML interface to system may become unavailable since ssh is disabled
switch(config)# show ssh server
ssh is not enabled
switch(config)# copy running-config startup-config
```

## SSH サーバキーの削除

SSH サーバをディセーブルにしたあと、SSH サーバキーを削除するには、次の手順を実行します。

SSH をディセーブルにした後で再度イネーブルにするには、初めに SSH サーバキーを生成する必要があります。

### はじめる前に

この手順を開始する前に、EXEC モードで CLI にログインする必要があります。

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	switch# <b>configure terminal</b>	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	switch(config)# <b>no feature ssh</b>	SSH サーバをディセーブルにします。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 3	switch(config)# no ssh key [dsa   rsa]	SSH サーバキーを削除します。 デフォルトでは、すべての SSH キーが削除されます。
ステップ 4	switch(config)# show ssh key	(任意) SSH サーバキーの設定を表示します。
ステップ 5	switch(config)# copy running-config startup-config	(任意) 実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

```
switch# configure terminal
switch(config)# no feature ssh
switch(config)# no ssh key rsa
switch(config)# show ssh key
*****
rsa Keys generated:Sun Jul 27 15:18:46 2008

ssh-rsa AAAAB3NzaC1yc2EAAAABIwAAAQEAyKcb7Nv9Ki100Id9/tdHhA/ngQujlvK5mXyL/n+DeOXX
fVhHbX2a+V0cm7CCLUkBh+BvZRmpmOVTmU/5awfVhVxMKXMiPOPbc+A6/n3FVroyRwupMki6mWoM6Uwa
GID5gsVPqFjFNSgMWtbhjo97XVKhgjFW+wOVt8QoAcrEtnwEfsnQk1EIr/0XIP1mqTsrqTsmjZ2vLk+f
FzTGYAxMvYZI+BrN47aoH2yws7CpnODjCDXJuDYSPbc3PA8t0ghU/60m9R+s6AZPuljVQbGfxPrahEu4
GVc6sMJNU1JxmQDJkdhMARObB4Umzj7E3Rdby/ZWx/clTYiXQR1X1VfhQ==

bitcount:2048
fingerprint:
fd:ca:48:73:b9:ee:e7:86:9e:1e:40:46:f1:50:1d:44
*****
dsa Keys generated:Sun Jul 27 15:20:12 2008

ssh-dss AAAAB3NzaC1kc3MAAACBALpdxLjXNS/jcCNY+F1QZV9HegxBEB0DMUm9bSq2N+KAcvH1lEh
GnaiHhgarOlceKqHlBibuqtKTCvfa+YlhBIAhWVjg1UR3/M22jqxnfnhxL5YRc1Q7fcesFax0myayAIU
nXrkO5iww9XHTu+EInRc4kJ0XrG9SxtLmDe/fi2ZAAAFQDbRabAjZa6GfDpwjXw5smRhrElJwAAIEA
r50yi3hHawNnb5qgYLXhN+KA8XJF753eCWHtMw7NR8fz6fjQ1R2J97UjjGuQ8DvwpGeNQ5S+AuIo0rGq
svdg7TTEcBcbgBOnR7Fs2+W5HiSVEGbvj1xaeK8fkNE6kaJumBB343b8Rgj0G97MP/os1GfkEqmX9glB
0IOM2mgHHyoAAACAFrir27hHy+fw8CxpLsKOR6cFhxYyd/qYYogXFKYIOPxpLoYrjqODeOfThU7TJuBz
aS97eXiruzbffHwzUGfXgmQT5o9IMZRTCLWPA/5Ju409YABYHccUghf0W+QtgGOT6FOSvBh8uOV0kcHC
GMJAP8omphauZJlc+wgFxnkyh4=

bitcount:1024
fingerprint:
44:91:32:1f:7a:d1:83:3c:f3:5e:db:53:0a:2d:ce:69
*****
mcs-srvr43(config)# no ssh key rsa
mcs-srvr43(config)# show ssh key
*****
could not retrieve rsa key information
*****
dsa Keys generated:Sun Jul 27 15:20:12 2008

ssh-dss AAAAB3NzaC1kc3MAAACBALpdxLjXNS/jcCNY+F1QZV9HegxBEB0DMUm9bSq2N+KAcvH1lEh
GnaiHhgarOlceKqHlBibuqtKTCvfa+YlhBIAhWVjg1UR3/M22jqxnfnhxL5YRc1Q7fcesFax0myayAIU
nXrkO5iww9XHTu+EInRc4kJ0XrG9SxtLmDe/fi2ZAAAFQDbRabAjZa6GfDpwjXw5smRhrElJwAAIEA
r50yi3hHawNnb5qgYLXhN+KA8XJF753eCWHtMw7NR8fz6fjQ1R2J97UjjGuQ8DvwpGeNQ5S+AuIo0rGq
svdg7TTEcBcbgBOnR7Fs2+W5HiSVEGbvj1xaeK8fkNE6kaJumBB343b8Rgj0G97MP/os1GfkEqmX9glB
0IOM2mgHHyoAAACAFrir27hHy+fw8CxpLsKOR6cFhxYyd/qYYogXFKYIOPxpLoYrjqODeOfThU7TJuBz
aS97eXiruzbffHwzUGfXgmQT5o9IMZRTCLWPA/5Ju409YABYHccUghf0W+QtgGOT6FOSvBh8uOV0kcHC
GMJAP8omphauZJlc+wgFxnkyh4=
```

```

bitcount:1024
fingerprint:
44:91:32:1f:7a:d1:83:3c:f3:5e:db:53:0a:2d:ce:69
*****
mcs-srvr43(config)# no ssh key dsa
mcs-srvr43(config)# show ssh key
*****
could not retrieve rsa key information
*****
could not retrieve dsa key information
*****
no ssh keys present. you will have to generate them
*****

```

## SSH セッションのクリア

デバイスから SSH セッションをクリアするには、次の手順を実行します。

### はじめる前に

この手順を開始する前に、EXEC モードで CLI にログインする必要があります。

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	switch# <b>show users</b>	ユーザセッション情報を表示します。
ステップ 2	switch# <b>clear line vty-line</b>	ユーザ SSH セッションをクリアします。
ステップ 3	switch# <b>show users</b>	(任意) ユーザセッション情報を表示します。

```

switch# show users
NAME      LINE      TIME          IDLE          PID COMMENT
admin     tty1      Jul 25 19:13  old          2867
admin     pts/0     Jul 28 09:49  00:02       28556 (10.21.148.122)
admin     pts/1     Jul 28 09:46  .           28437 (::ffff:10.21.148.122)*
switch# clear line 0
switch# show users
NAME      LINE      TIME          IDLE          PID COMMENT
admin     tty1      Jul 25 19:13  old          2867
admin     pts/1     Jul 28 09:46  .           28437 (::ffff:10.21.148.122)*
mcs-srvr43(config)#

```

## SSH の設定の確認

次のいずれかのコマンドを使用して、設定を確認します。

コマンド	目的
<b>show ssh key [dsa   rsa]</b>	SSH サーバ キー ペアの情報を表示します。

コマンド	目的
<code>show running-config security [all]</code>	実行コンフィギュレーション内の SSH とユーザアカウントの設定を表示します。キーワード <code>all</code> を指定すると、SSH およびユーザアカウントのデフォルト値が表示されます。
<code>show ssh server</code>	SSH サーバの設定を表示します。

## SSH の設定例

この例では、OpenSSH キーを使用して SSH を設定する手順を示します。

- SSH サーバをディセーブルにします。

```
switch# configure terminal
switch(config)# no feature ssh
```

- SSH サーバ キーを生成します。

```
switch(config)# ssh key rsa
generating rsa key(1024 bits).....
.generated rsa key
```

- SSH サーバをイネーブルにします。

```
switch(config)# feature ssh
```

- SSH サーバ キーを表示します。

```
switch(config)# show ssh key
rsa Keys generated:Sat Sep 29 00:10:39 2007
```

```
ssh-rsa AAAAB3NzaC1yc2EAAAABIWAAAIEAvWhEBsF55oaPHNDBnpXOTw6+/OdHoLJZKr+Mzm99n2U0
ChzZG4svRWmHuJY4PeDW10e5yE3g3EO3pjDDmt923siNiv5aSga60K361r39HmXL6VgpRVn1XQFiBwn4
na+H1d3Q0hDt+uWEA0tku2uOtX1DhliEmn4HVXOjGhFhone=
```

```
bitcount:1024
fingerprint:
51:6d:de:1c:c3:29:50:88:df:cc:95:f0:15:5d:9a:df
*****
could not retrieve dsa key information
*****
```

- OpenSSH 形式の SSH 公開キーを指定します。

```
switch(config)# username User1 sshkey ssh-rsa
AAAAB3NzaC1yc2EAAAABIWAAAIEAy19oF6QaZ19G+3f1XswK30iW4H7YyUyuA50rv7gsEPjhOBYmsi6PAVKuilnIf/
DQhum+1JNqJP/eLowb7ubO+1VKRXYF/G+1JNIQW3g9igG30c6k6+XVn+NjnI1B7ihvpVh7dLddMOXwOnXHYshXmSiH
3UD/vKyziEh5S4Tplx8=
```

- 設定を保存します。

```
switch(config)# copy running-config startup-config
```

## SSH 機能の履歴

この表には、機能の追加によるリリースの更新内容のみが記載されています。

機能名	リリース	機能情報
SSH	4.0(4)SV1(1)	この機能が導入されました。

